

取組の柱②：インド太平洋流の課題対処

事例①⑥：廃棄物管理インフラ及び循環経済移行への協力

1. 基本的な考え方

● ASEAN等の途上国では急激な経済成長に伴い都市の廃棄物発生量が増加する一方、適正な廃棄物管理インフラが整備されていないことから、プラスチックを含む環境汚染や健康被害が発生。また、電気電子機器廃棄物（E-waste）も近年増加傾向。

● 我が国の優れた廃棄物処理・リサイクルに係る制度や技術をベースに、ASEAN諸国等に制度・技術・人材育成等をパッケージで支援し、適切な廃棄物管理とインフラ整備につなげることにより、環境汚染・健康被害の防止を図る。また、脱炭素化に必要な重要金属等をE-wasteから回収・リサイクルし、国際的なサプライチェーンで資源循環させることで、途上国の環境汚染防止と循環経済への移行を推進すると同時に、我が国の重要金属の確保を図る。

2. 具体的な取組

- 廃棄物管理・リサイクル制度・技術導入支援
(例) 法令や基準策定などの制度構築、廃棄物発電等技術ガイドラインやPPPガイダンス作成、アフリカのきれいな街プラットフォーム(ACCP) 等
- 廃棄物インフラ整備支援
(例) 廃棄物発電プロジェクト支援 等
- 廃棄物管理に関する人材育成
(例) 政府や自治体関係者の訪日研修 等
- E-wasteに係る制度構築整備・能力開発支援
(例) E-wasteの回収・処理に係る制度構築、適正処理支援 等
- 金属リサイクル原料の日本への輸入促進による国際的な資源循環の形成
(例) バーゼル法認定制度を活用し、廃電子基板・廃蓄電池等の輸入手続を迅速化

① 廃棄物管理インフラ整備支援

廃棄物インフラ整備プロジェクトの事例

例1 フィリピンにおける廃棄物発電施設導入のガイドライン策定支援

例2 タイにおける産業廃棄物管理の協力リサイクルガイドラインの策定支援等

例3 インドネシアにおける廃棄物発電導入支援 PPP事業への入札補助（調達書類や評価基準作成の協力）により、案件形成を支援

例4 ベトナムバクニン省における廃棄物発電プロジェクト（500t/日処理、2022年1月着工） JCMによる資金支援及び廃棄物搬入計画策定等支援



ベトナムバクニン省における廃棄物発電プロジェクトの完成予想図

② 国際金属資源循環の構築に向けた取組

1. ASEAN等途上国でのE-waste関係法令や基準等の制度構築支援
2. 環境上適正な解体処理等に係る日本企業と現地企業の協働を支援
3. バーゼル法認定制度活用により手続を迅速化・輸入を促進

